

例会報告 Rotary



2022-2023年度
RIテーマ

第2701回例会
令和5年4月21日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行高山支店 4F
- 会長 垣内 秀文
- 幹事 大村 貴之
- 会報委員長 中島 一成

イマジン
ロータリー 地区協議会報告

<会長の時間>

先週4/15には2023-24年度の地区研修協議会が開催されました。次年度への準備が進んでいく感じが、何か懐かしいやら、寂しいやら、嬉しいやら複雑な心境です、皆様お察しください。



又5年前の交換留学生のNoemiファミリーが来日しました。その際にホストファミリーであった下屋エレクトにおかれましては、怒涛のザ・Noemi ウィークとして大変ご苦労をおかけしました、誠にありがとうございました。とはいっても下屋エレクトにおかれましては、5年間待ち焦がれていた娘のような彼女との再会でもあり、涙あり笑いあいの楽しい一週間であったとお察しいたします。

週間であったとお察しいたします。

当時のホストファミリーの歓迎会があり、その翌日の西クラブ有志による歓迎会も開催され、出席させていただきました。その会の模様を少しお話ししますと、内田さんの流暢な英語によるユニークな「歓迎の言葉」と「乾杯」で始まり、場が和み、そして間もなく、祝い唄「めでた」を田中武さんに披露していただきました。武さんはお約束で間違え一同の笑いを誘い、2テイク目では見事に歌い上げました。やっぱり持っている人は違います。楽しい時間はあっという間に過ぎワインをたくさん飲んで、良い感じの酔い加減の塚さんによる一本締めで一次会は終了しました。



その後にはカラオケをしたいたのファミリーの強い要望もあり二次会場へ移動、道中に半弓道場を発見されていて、何でもやりがりのNoemiファミリーと一戦交えました。

Noemi パパはカナダ人、そしてNoemiの妹の彼氏さんスイス人、そして私日本人の三国によるプチワールドカップが開催され、日本とスイスのドロー決着で終了し、地元開催の面目を保ち、Noemi パパは残念ながら最下位でしたが大変ご満悦でおられました。

その後、二次会場では英語の歌が飛び交う歌合戦となり、

異国の気分を堪能でき盛り上がりました。翌朝に確認すると、その後にてこなる横丁にも足伸ばしていたようで証拠写真がありました。国際交流は良いものだ改めて感じました。

スイスには4つの言語地域があり、ドイツ語を話すゲルマン系スイス人の一番割合が高く、次にフランス語、イタリア語、そしてロマンシュ語と続くそうです。四方を山に囲まれ、昔は隣村まで行くのも一苦労だったスイスですが、地元意識がとても強く、外国人が地域に溶け込むまでには少し時間がかかるそうです。特にアジア人は、顔かたちが西洋人とはまるっきり異なるため、警戒心が強くなるようですが、それは単に悪意ではなく、スイス人の警戒心の高さからくるものだと思います。また、人の揚げ足を取るのも国民性で得意らしく、とにかく面白楽しく生活しているようで、先日も身振り手振りで笑わせてくれたように、スイス人と付き合うには豊富なボキャブラリーが必要であるように感じました。併せてスイス人はおしゃべり好きで、一日の出来事から人の噂話まで様々、そして困ったことに口も軽いので「ここだけの話だけ」と前置きしても次の日にはご近所中に広がってしまうこともしばしばあるようです。勿論家族間の隠し事はなく、それこそ朝起きてから夜寝るまでに起こった一部始終を報告し合います。Noemiファミリーにもそんな一面が垣間見えました。

ゲルマン系スイス人を一言でまとめると、理屈っぽい！さらに付け加えると、偏屈で外面がよく、僻みっぽく噂好き、真面目で勤勉、そして時間を守り規則正しい生活をするのが大好きな人種ということで、私たち日本人とよく似ていると思いませんか？ドイツ人の性格が日本人に似ているとはよくいわれますが、ドイツ人と同じゲルマン民族のドイツ語圏スイス人もまた日本人と似ているようです。ドイツとは違い、四方を高山に囲まれ半ば孤立状態のスイスは、四方を海に囲まれ孤立状態の我が国日本と共通する点があるのかもしれない。

色々お話しさせて頂きましたが、Noemiとの関りは米澤年度の向井親睦委員長の元、新年家族例会の余興練習を数回重ねただけしかなく、当日何を話題にすれば良いのか少し不安でしたが、温かい人たらしNoemiファミリーと懇親を深められたこと、又この機会を企画していただいた下屋エレクトには心から感謝申し上げます。

コロナも落ち着き、新たな日常が戻ってきた今日この頃、新たに交換留学生を積極的に迎え入れていきましょう。

<幹事報告>

◎ガバナーエレクト事務所より

・G. W休暇のお知らせ 5月1日(月)~5日(金)

◎濃飛グループガバナー補佐より

・ガバナー補佐最終訪問について 日時 6月2日(金)

◎光記念館より

・クラウドファンディングへのご協力をお願い

・「桑原翠邦が求めた書」展 ご案内および招待券

例会報告

<例会変更>

高山 ... 5月4日(木)は、法定休日のため休会

高山中央 ... 5月1日(月)は、定款により休会
5月8日(月)は、定款により休会
5月22日(月)は、新緑例会のため、
18:30~ ホテル高山宝生閣へ変更

可児 ... 5月4日(木)は、法定休日のため休会
5月18日(木)は、事業所見学のため、
10:30~ 令和さくら高等学校へ変更

<受贈誌>

高山RC(会報)、下呂RC(会報)、米山記念奨学会(ハイライトよねやま vol277)、生駒時計店(ロータリーカタログ 2023-2024)

<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
27名	—	27名	36名	75.00%

<新会員入会>

明治安田生命
飛騨高山営業所長

大屋 尚史



<本日のプログラム>

地区協議会報告

会長エレクト 下屋 勝比古

先程会長にもお話いただきましたが、本題に先立ちましてノエミの話から始めると、ヨーロッパ人と日本人の文化・生活習慣の違いを改めて実感する機会となりました。ヨーロッパの人たちは延々とゆっくり、本当に楽しみながら食事をするので、飲食店からするとイライラするわけですが、そういう文化をいろいろ間近に見る機会でした。話がちょっとそれますが、高山祭の夜祭り、今年久しぶりに出来まして屋台を引いていたんですが、以前は別の地域からの観光客が多くてうわーっと大騒ぎになったりしましたが、今年は観衆の8割ヨーロッパ人、欧米人でマナーが良く、静かな夜祭りができたと思います。ただ、五年ぶりに夜祭りをやったので、いろんな屋台が故障したりとか、電線にぶつかったりとか、うちの屋台も実は提灯が落ちてきたりとか。本当にハプニングだらけではありましたが大変面白かったです。ノエミの話に戻りますと、現在広島にいます。3週間に渡って日本に居るという、すごく優雅な旅行しています。3年後には家内の還暦記念でノエミの故郷、マッターホルンのお膝元のツェルマットに行く約束をしたので、もし一緒にされる方が見えれば、今から積み立てをして、優雅なスイス旅行をしたいと思っています。さて、ごめんなさい。話が横道にそれました。

まず初めに3月26日、次期期会長研修セミナー(PETS)に出させていただきました。会長経験者も多く見えるので、多くの皆さんが経験されたと思うんですけど、非常に緊張した一日を過ごさせ

ていただきました。どうせ眠くなるって皆さん言ってましたけど、最後まで話を全部聞いて、ちゃんとメモして勉強してきました。来年度は多治見リバーサイドクラブから篠原一行ガバナーが就任されます。創作陶器卸売販売66歳の方になります。今年度、当地区の高橋ガバナーをはじめ細淵さん、それから東京紀尾井町で東京2580地区ガバナーと、3人のガバナーからお話を聞けるチャンスしてもらい、そしてエレクト研修会に出席し、体温がどんどん上昇してくるのを実感しています。はじめ五年ぐらいは本当に来てご飯を食べるだけという遠藤さんの教えの通りに楽しく昼食を食べて、委員長になっても、ただ右から左へ作業しているだけだったんですけど、入会して12年目となりまして、いよいよこの時期になってくると、いろんなことが目に見えてきて、考えなきゃいけない、火が付いた状況です。

次年度のR I会長はスコットランドのゴードン・マッキナリーさんです。テーマが『世界に希望を生み出そう』地区のテーマは「奉仕の心を未来に繋げよう」です。

地区活動方針は、

- 1、R I会長テーマ「世界に希望を生み出そう」
地区方針 「奉仕の心を未来へつなげよう」の理解・実践
- 2、R I戦略計画の推進
- 3、会員増強基盤の強化・会員維持・DE I推進・新クラブ推進
- 4、公共イメージと認知度の向上
- 5、青少年育成の推進及び地域社会での奉仕活動の充実
- 6、ロータリー財団補助金の積極的活用と寄付への理解・推進
- 7、米山奨学事業への参加と支援
- 8、R Iロータリー賞及びR I会長賞への積極的なチャレンジでした。

先日ある方の退職お祝いの会があり、めでたを出しましょとなりました。めでたを唄う時、私もそうだったんですけど、目をつぶって、下向いて、となりますが、音楽の先生をやっておられた方がそれは違うと言われました。「お祝いの唄なんだから目を開けて上を向いて、大声で」と。最後までがなるように、全員が腹から声を出して前を向いて、みんなの顔見ながら唄いました。今まで僕、高山で30年近くめでたを唄ってきましたが、初めて汗をかくめでたになりました。これまで儀礼的に下向いて唄っていましたが、たまに内田さんに目を開けて唄え、とかって言われるのはこういうことなんだと、ただ何となくやるのではなく、先輩方の正しい知識を丁寧に教えてもらって理解した上で伝統を守ってやっていく、またはこれまでの形式にはとらわれず、そもそもの理念は大事に引継ぎ、形を変えて継承する、ということが非常に大事だと思いました。そしてロータリー活動についても、最近入会された例えば水梨さんとか堀さんが、まだ何が何だかわからないままという状況を、僕らが丁寧に話をし続けることで興味が湧いて、楽しむだけじゃなくて、ここへきて学んで、そして今日は何か新しいこと習ったな今日は何か良い体験ができたなということを持ち帰って、また次に頑張るっていうような、そういうことがロータリーなんだなってことをこの二カ月の間、いろんな方のお話を聞いて、今更ながら改めて実感しています。

次年度何をしていくかについては、現在調整しているところなんですけど、知っているようで知らないこと、やったことない事を、皆でワクワクドキドキハラハラ心配を重ねながらやって行きたいと思っています。今から部門の引き継ぎをやっていただきますが、今年度やり足らなかったことを、次の人にはぜひやってくださいという形で伝えてほしいと思います。そして例会では、お互いの仕事やキャリアを尊敬し学ぶ機会でありたいと、会員の皆様それぞれが主役となる。皆さんのお話を皆さんに聞いていただく機会をたくさん作りたいと思います。塚さんが会長のときに私幹事で、事業あまり出来ずに終わったんですけど、塚さんと一緒に過ごすだけでもすごく刺激にもなったし、会員の皆様と一人ずつ話して、想いを共有できる場としての例会にして行きたいと思っています。ただ来て座って帰れると思わないで下さい。いろいろ発表したり、協力したりし

例会報告

て頂くが増えると思います。

これから暴走列車になると思うので、事あるごとに僕にブレーキをかけ、ハンドル調整をお願いしたいと思います。不幸にも僕に指名された部門長委員長の皆様、本当にご迷惑を掛けると思います。特に始まりの相撲の事業、杉山さんを道連れにしちゃって、本当にこれから大変ですがよろしくお願いします。以上です。

高井 道子

皆さんこんにちは。初めて地区協議会に参加させていただいて、すごく勉強になりました。ロータリー財団の方たちと一緒に、奉仕プロジェクトの分科会を受けたんですけど、すごくロータリーの熱量というか、エネルギーをいただいたなあって思いました。下屋さんが今度の会長さんですが、私もハラハラドキドキワクワクは大好きなのでいいと思います。そして、私のやることにもたぶん皆さんハラハラドキドキすると思いますが、宜しくお願いいたします。今まで私、ロータリー入らせていただいて、一年頑張ったんですけど、その後コロナがありまして、長いことお休みいただいて、やっと復帰してきました。この度社会奉仕委員長を拝命しまして、ちょっと何やってもいかわからないっていうのが今の状態ですが、これから未来をつくっていく子供たちにいい環境を与えたいっていう想いがありますので、そこを社会奉仕の肝に、と私なりに考えております。皆さんどうぞ協力をよろしくお願いいたします。



堀 幸一郎

先日4月15日、多治見のバロー文化ホールで国際ロータリー第2630地区2023年地区研修協議会に参加しました。当日生憎の雨だったんですけども、私は前日名古屋におり、一時間半前に到着しまして、閑散としてちょっと不安を感じたりしましたが、すぐに続々とバスやら到着して、さすがロータリーだなと、沢山の方が活動されているんだと、ちょっと驚きました。当日は、開会セッション第一セッション第二セッション閉会セッションの四つのセッションに分かれて構成されており、第一セッションは全員で、大ホールで、次期RIテーマや地区活動方針をガバナーエレクトが話される形でした。そもそもRIっていう言葉自体ピンと来ていなかった訳ですが、今回研修会に参加することで理解しました。第二セッションは個々に分かれて、分科会に参加することだったんですが、私、今年の10月で入会3年なんですけれども、その入会3年以内の会員対象である新会員の分科会で『ロータリーとは』という研修を受けました。



この研修で一番印象に残ったのが、最初からのロータリアンはいない、ロータリアンは生まれるものではなく、皆さんで育て上げるものだという言葉です。私がそもそもロータリーに入った経緯は遠藤さんに誘われて、最終的に根負けという、あまり動機としては宜しくない入会の仕方でしたし、ロータリー活動はお昼を食べに来ることだというふうな勘違いしていた人間で、私は本当にロータリアンに相応しいのかなって思うことが結構あったんですが、この言葉を聞いて少し安心しました。

どの会でもそうですが、同じような活動を毎年毎年繰り返し行うものに参加することによって、全体像がだんだん理解できてくるんだということは、なんとなくわかりました。ゴルフに例えると、例会は打ちっぱなしの練習場。メイクアップなり地区研修協議会等の会合へ出ると、これがやっぱりコースに出ることじゃないかなと思います。やはりゴルフで打ちっぱなしばかりしてもちっとも上達しないです。今回の様に外部の研修も受けてこそ、ロータリアンとして人間として成長できるんじゃないかっていうのを感じました。私もこれまでちょうどコロナもあり、ZOOM参加だったりでもまだピ

ンと来ていない部分があるんですけども、その三年間取り戻すべく、色んな活動に参加して、できる限り理想のロータリアンに近づけたらと思いますので、またよろしくお願いたします。



<ニコニコボックス>

●垣内 秀文さん、大村 貴之さん

大屋尚史さんの入会を心より歓迎します。早く飛騨弁にも慣れ、ロータリー活動とともに楽しみましょう！今日は地区協議会報告例会です。下屋さん、高井さん、堀さん、報告よろしくお願いたします。

●挾土 貞吉さん

久しぶりに地区研修に連れて行ってもらい「ロータリーとは」について勉強して参りました。その際下屋エレクト、塚本副幹事始めメンバーに気遣いを頂き済みませんでした。有難うございました。小生ボケがあり ChatGPT が使えたらいいなと思いつつニコニコへ。

●塚本 直人さん

さわやかな季節がやってきました。昨日は夏の様でした。4/15の地区研修協議会に参加して頂いた方、お疲れ様でした。高山RCメンバーと一緒にバスで行って参りました。ハブニングもありましたが良い経験でした。夜の懇親会は下屋さんお薦めのメキシコ料理チャバラで行い、楽しい時間でした。挾土さんからもお心遣い頂きありがとうございます。今日は出張のため早退いたします。

●下屋 勝比古さん

交換留学生のノエミ家族総勢7名は、11日から15日の間高山に滞在しました。ホストファミリーと交流したり、高山の屋台組とも交流したりできました。会員の皆様には色々ご協力ご参加ありがとうございました。特に内田さんにはご両親とカラオケに行ってもらい喜んでいました。今度はツェルマットで再会を約束しました。しばらくノエミロスです。

●井口 大輔さん

前回4/7例会では結婚記念日と誕生日をお祝い頂き有難うございました。頂いた商品券でグリーンホテルで美味しい中華、家ではコーヒーでリラックスさせて頂き、昨日迎えた51歳も頑張って乗り切りたいと思います。この時期は業務の兼ね合いで金曜日は旅に出る事が多くなる為、今日より6月までお休みします。暴飲暴食で見た目が変わっているかもしれませんが皆様もご安全に。ご機嫌よう。

●田邊 淳さん

暑い日が続きます。着る服に悩む日々です。皆様も体調には気を付けて下さい。今日は所用で早退させていただきます。

●平 義孝さん、斎藤 章さん、古橋 直彦さん、米澤 久二さん、

田中 武さん、鴻野 幸泰さん、松田 康弘さん

先日は春の伝統行事、高山祭が開催されました。6年振りに夜祭も行われ、からくり奉納や絢爛豪華な屋台の引き揃えなど、ようやくコロナ禍前の姿を取り戻しました。5月からはコロナも5類に移行します。高山の経済回復がさらに加速し、一日も早くマスクの無い生活に戻れるよう願うばかりです。